

『実践英語音声学』（JPEPSJ）投稿規程

1. 『実践英語音声学』（*The Journal of the Practical English Phonetic Society of Japan, JPEPSJ*）は日本実践英語音声学会の機関誌として原則年 1 回、年度末までに本学会のウェブサイト上で発行する。論文は日本語、または英語で書かれたものとする。本誌への投稿資格は、原則として本学会員に限るが、編集委員会の依頼による特別寄稿についてはこの限りではない。また、共著論文の場合は、執筆者全員が本学会の会員である必要がある。
2. 投稿内容は、未発表のものであることが求められ、また、他誌等に投稿中でないことが条件となる。ただし、すでに口頭で発表し、その旨を論文中に明記している場合は審査の対象とする。
3. 会員が投稿できるのは、共著の場合を含めて、ひとり 2 本までとする。
4. 投稿カテゴリーは以下の 4 つとする。
 - a. 研究論文
先行研究について理論的な考察や批判的な論評を行い、研究・教育のための新規性のある見解や概念などを提案するもの（理論研究）。または先行研究から研究課題や仮説を見だし、これらについて検証可能な方法で研究し、結果・考察・結論を提示するもの（実証研究 [追試研究を含む]）。いずれも引用やデータの提示方法が適切、かつ論理展開が明確で、英語音声研究・英語音声教育分野の学術論文としてふさわしいもの。
 - b. 実践論文
独創性のある英語音声教育実践を行い、その実践内容を適切に記述・解説した上で、先行研究を踏まえて理論的な意味づけを行うとともに、実践の結果について具体的根拠に基づいた考察・省察を行っている英語音声教育分野の学術論文としてふさわしいもの。
 - c. 研究ノート
研究論文・実践論文に準ずるもので、研究・教育に有益で新規性のある情報を提供したり、萌芽的な研究課題を提起したり、速報性・話題性のあるテーマについて報告するなど、今後の英語音声研究・英語音声教育分野を発展・活性化させる契機となり得る内容を含むもの。
 - d. その他（総説、書評、学界動向、新刊紹介など）
5. 原稿の書式は、投稿用スタイルシート並びにフォーマットに従うものとする。原稿は A4 サイズで作成するものとし、ページ設定は、日本語は 1 行あたり 38 字で 43 行、

英語は 1 行あたり 76 字で 43 行とする。本文のフォントは、英語・数字は Times New Roman, 日本語は MS P 明朝で、ともに 10.5 ポイントとする。投稿論文の分量は、キーワード, 要旨, 図表等を含めて 30 ページ以内とする。投稿原稿には氏名を明記せず, タイトル (18 ポイント), 執筆言語での要旨 (和文 300 字以内, 英文 200 語以内), 本文 (10.5 ポイント) のみを記述する。

6. 応募原稿は Word ファイルおよび PDF ファイルを電子メールで編集委員会に送付する (編集委員会メールアドレス PEPSJL[アット]gmail.com [アット]を@に変えること, 大文字は小文字も可)。また, 原稿とともにチェックリストも送付すること (原稿およびチェックリストの送付をもって原稿を受理する)。なお, 第一言語以外で執筆する場合には, 入念なネイティブチェックを受けた上で入稿すること。最終提出原稿には本文が日本語の場合は英語の, 本文が英語の場合は日本語の要旨を付加してもらうが, これも同様の扱いとする。
7. 『実践英語音声学』はオンライン誌である。よって, 投稿内容の電子化による公開を, 著者が本誌に投稿した時点で許諾したものとする。
8. 締切日は各年度の 10 月 31 日とする。(臨時増刊の場合には別に定める。)
9. 投稿された内容については, 2 名の匿名査読者によって査読を行う。
10. 掲載の可否は編集事務局長が決定する。査読者の採否判断が異なる場合には, 編集委員長が採否を決定する。
11. 著者による校正は原則として初校のみとする。訂正は誤植に限るものとし, 内容の変更は認めない。
12. 論文掲載料は徴収しないが, 稿料も払わない。

付則 本投稿規程の改正は, 理事会の議決によるものとする。

2019 年 4 月 13 日 制定

2020 年 5 月 1 日 一部改正

2021 年 10 月 4 日 一部改正